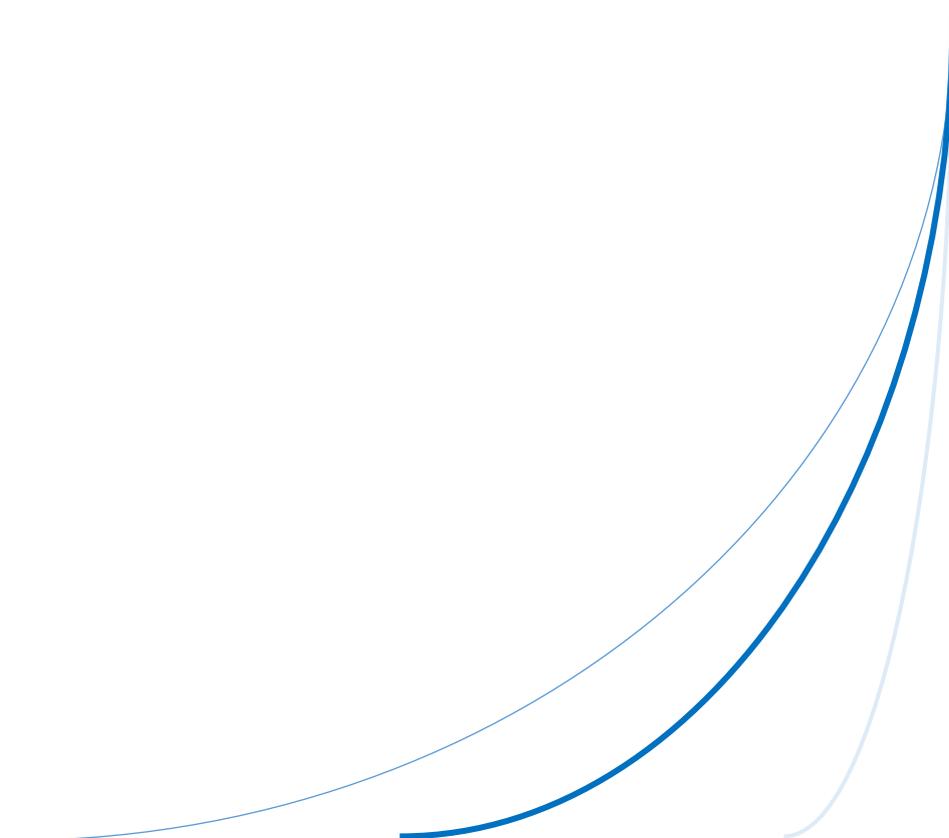


平成 30 年度「当面する課題に関する調査研究」

「地域づくりの担い手育成に関する調査研究Ⅱ」

研究報告書第 42 号 平成 31 年 3 月



北海道立生涯学習推進センター

発刊にあたって

昨年12月に中央教育審議会から「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」という答申が出されました。

この答申では、「社会教育は、個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割を持つものであり、その要となるのが、学びを通じた住民相互のつながりである。」とされております。

また、地域における社会教育の意義と果たすべき役割として、大きく「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」の3つが掲げられました。

こうした状況にあつて、当センターでは、「持続可能な社会づくりに関わる学習活動の在り方について北海道内の市町村における取組の実態を整理し、今後の北海道並びに市町村の生涯学習及び社会教育の振興に寄与すること」を目的に調査研究を進めて参りました。

具体的には、社会教育行政が行う「地域づくりの担い手育成」について伺った全道179市町村への調査票調査、その調査から判明した「社会教育事業が地域の主体的な活動につながった6事例」の聞き取り調査を行いました。

本研究報告書では、これら調査の結果から、社会教育の果たすべき役割として掲げられた「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」に資する社会教育行政が行う担い手育成事業の展開について整理いたしました。

本研究報告書が、市町村において、住民の主体的な社会参画の促進や地域づくりの担い手の育成等、それぞれの地域の実態に合わせた生涯学習・社会教育事業の一助になれば幸いに存じます。

終わりに、本調査研究の実施にあたり、調査に御協力をいただきました全道の市町村教育委員会をはじめ、関係の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

北海道立生涯学習推進センター所長

相内修司

—目次—

第1章 調査研究の概要		
1 調査研究の目的	1
2 調査研究の対象		
3 調査研究の方法		
4 調査期間		
第2章 調査票調査の結果		
1 回収率	2
2 調査の結果		
(1) 単純集計		
(2) クロス集計	7
第3章 聞き取り調査の結果		
1 聞き取り調査について	10
(1) 聞き取り調査の目的		
(2) 調査先について		
(3) 仮説について		
(4) 調査の対象について	11
(5) 質問項目		
2 事例		
事例1 札幌市「札幌市民カレッジ」「市民講師育成事業」	12
事例2 留寿都村「留寿都村豊かな地域づくり女性活動事業」	16
事例3 八雲町「YOU・遊・クラス」「あんどん型山車づくり講習会」	18
事例4 旭川市「シニア大学」「シニア大学院」	22
事例5 西興部村「西興部村地域学講座」	24
事例6 弟子屈町「弟子屈高等学校・公民館連携講座」「公民館ミニコンサート」「少年の主張弟子屈大会」	26
3 聞き取り調査の考察	28
第4章 調査研究のまとめ	29
参考資料 調査票	30